

『社会学科と社会学』関連年表

1892年	シカゴ大学創立、社会学科設置、学科長アルビオン・スモール。	(第4章)	
1894年	ミード、シカゴ大学哲学科に着任	Strauss, 1977, p.viii	
1895年	AJS創刊。	付録	アルビオン・スモールのAJS
1895年	W.I.トマス着任(～1918年)	第1章	
1896年	ヴィンセント着任	Bulmer, 1984, p.35	
1905年	アメリカ社会学会創立	第3章	
1908年	ジョージ・ヴィンセント離任	第4章	
1914年	ロバート・パーク着任(～1934年)	第1章	
1916年	アーネスト・バージェス着任(～1952年)	第1章	
1918年	トマスとズナニエツキ『ヨーロッパとアメリカにおけるポーランド農民』	第7章	
1918年	トマス、スキヤンダルで解雇。	第4章	
1920年	エルスワース・フェアリス着任(～1940年)	第1章	
1921年	パーク・バージェス編『科学としての社会学入門』	第1章	
1923年	地域コミュニティ調査委員会(Local Community Research Committee)	Bulmer, 1984, p.138.	
1923年	ネルズ・アンダーソン『ホーボー』	第7章	
1925年	パーク、バージェス、マッケンジー『都市』	第7章	
1926年	アルビオン・スモール引退。学科長は、フェアリス。	第3章、第4章	

1927年	オグバーン着任	第2章
1927年	アーネスト・マウラー『家族解体』	第7章
1927年	リフォード・エドワーズ『革命の自然史』	第7章
1928年	ルス・キャバン『自殺』	第7章
1928年	アーネスト・ヒラー『ストライキ』	第7章
1928年	ルイス・ワース『ゲットー』	第7章
1929年	エドウィン・スラッシャー『ギャング』	第7章
1929年	ハーヴェイ・ゾーボ『ゴールドコーストとスラム』	第7章
1929年	ロバート／ヘレン・リンド『ミドルタウン』	第7章
1930年	クリフォード・ショウ『ジャックローラー』	第7章
1930年	ストウファー『態度研究における統計的方法と事例史的方法の実験的比較』	第7章
1930年	L.L.バーナード「社会学の学派」	第1章
1931年	ルイス・ワース着任(～1952年)	第1章
1931年	このころ、AJS論争がアメリカ社会学会で始まる。	第4章
1931年	G・H・ミード没	Strauss, 1977, p.viii
1931年	ハーバート・ブルーマー着任(～1952年)	第1章
1931年	地域コミュニティ調査委員会プロジェクト終了	Bulmer, 1984, p.144
1932年	ポール・クレッシェ『タクシーダンス・ホール』	第7章
1932年	フランクリン・フレイジア『シカゴの黒人家族』	第7章
1933年	ウォルター・レックレス『シカゴの悪徳』	第7章
1933年	12月、アメリカ社会学会、AJSの選抜制を報告。	第4章
1933年	AJSの筆頭編集者はフェアリス。	第4章
1934年	1月、シカゴ大学出版会ピーン、アメリカ社会学会会長のバージェスに、1935年から契約解除を通告。	第4章
1934年	パーク退職(フィスク大学へ)	第1章、第4章
1934年	12月、アメリカ社会学会、『年報』に関するシカゴ大学出版会との出版契約解除を決定。学会の編集委員長は、ブルーマー。	第4章
1935年	シカゴ大学出版会、AJSに関するアメリカ社会学会との契約を解	第4章
1935年	ロイド・ウォーナー着任(～1959)	第2章
1936年	ASR創刊。『年報』を引き継ぐ。	第2章、第4章
1936年	AJSの編集はバージェスに。	第4章
1938年	エヴェレット・ヒューズ着任	第2章
1938年	ワース「生活様式としてのアーバニズム」	第1章
1938年	アリハン『社会生態学』	第1章
1939年	フェアリス、タナム『精神疾患と都市地域』	第7章
1940年	フェアリス引退、このときまで学科長。学科長はオグバーンに。	第4章
1940年	AJSの編集はブルーマー。	第4章
1942年	ショウ、マッケイ『少年非行と都市地域』	第7章
1944年	ヘレン・ヒューズがAJSの編集アシスタントに。	第4章
1945年	エドワード・シルズ着任(～1947年)	第2章
1945年	ウィリアム・F・ホワイト着任(～1948年)	第2章
1947年	フィリップ・ハウザー着任	第2章
1947年	ハーバート・ゴールドハマー着任(～1951年)	第2章
1947年	NORCシカゴに移転、理事長はクライド・ハート	第2章
1947年	シルズ、社会思想委員会に異動	第2章
1948年	アルバート・ライス着任(～1952年)	第2章
1950年	レオ・グッドマン着任	第2章
1950年	ロビンソン「生態学的相関と個人の行動」ASR 15	第7章
1951年	1月、ハッチンズ総長辞任。後任はキンブトン。	第2章
1951年	O.D.ダンカン着任(～1957年)	第2章
1951年	D.G.ムーア着任(～1955年)	第2章
1951年	ドナルド・ホートン着任(～1957年)	第2章
1951年	オグバーン退職	第2章
1951年	10月、自己評価研究開始(～1952年)	プロローグ、第2章
1952年	5月、ルイス・ワース没	第2章
1952年	5月、AJSの編集はヒューズに。	第4章
1952年	7月、ハーバート・ブルーマー、パークレイに異動	第2章
1952年	バージェス退職	第1章
1952年	ヒューズ学科長に就任。	第2章
1952年	ハロルド・ウィレンスキー着任(～1953年)	第2章
1952年	アンセルム・ストラウス着任(～1958年)	第2章
1952年	ネルソン・フート着任(～1956年)	第2章
1952年	ウィリアム・ブラッドバリー、カレッジから社会学科に異動(～1958年)	第2章
1954年	デイヴィッド・リースマン、カレッジから社会学科に異動(～1958年)	第2章
1954年	ピーター・ブラウ着任(～1963年)	第2章
1955年	エリフ・カツ着任(～70年)	第2章
1955年	フートのテニュア否決	第2章
1955年	ボーグ、正教授に。	第2章

シカゴ学派(第一次集団)のAJS

1956年	ハウザー学科長に。	第2章	移行期のAJS
1956年	ダンカンのテニユア否決	第2章	
1956年	ピーター・ロッシ着任(～1967年)	第2章	
1956年	レオナルド・ブルーム、ASRに双方匿名の査読制導入。	第5章	
1957年	エドワード・シルズ復帰	第2章	
1957年	ストラウスのテニユア否決	第2章	
1957年	エヴェレット・ヒューズ、休暇でドイツへ(～58)。 AJS編集は代役のロッシに。	第5章	
1957年	アラン・バートン着任	第2章	
1957年	ジェームズ・コールマン着任(～59年)	第2章	
1958年	1月、ロッシ、AJS見直しメモを学科に提案。ロッシ=ヒューズ論争へ	第5章	
1958年	リースマン、離任	第2章	
1959年	ウォーナー、離任	第2章	
1959年	コールマン、離任	第2章	
1959年	ミルズ『社会学的想像力』	第7章	
1961年	1月、ブラウ、AJSの編集者に。 双方匿名査読についてヒューズと論争。	第5章	
1961年	ヒューズ、退職。	第3章	
1962年	ロナルド・レヴィン着任	第2章	
1962年	モリス・ジャンウィッツ着任	第2章	
1963年	ブラウ、離任。	第2章、第5章	
1963年	アーノルド・アンダーソン、AJSの編集者に。	第5章	
1967年	ロバート・フェアリス『シカゴ社会学1920～1932』	第1章	
1967年	ロッシ、離任。	第2章、第5章	
1967年	ブラウ、ダンカン『アメリカの職業構造』	第7章	
1968年	カステル「都市社会学は存在するか」	第1章	
1968年	フローレンス・レヴィンソン、AJSの編集事務長に。	第5章	
1969年	マリー・ディクソンのテニユア否決事件	第5章	
1969年	学生が大学管理等を占拠。 このころ、学科長はジャンウィッツ	第5章	
1969年	チャールズ・ビッドウェル、社会学科併任に。	第5章	
1971年	ショート編『大都市の社会機構』	第1章	
1972年	チャールズ・ビッドウェル、AJSの編集者に。	第5章	
1973年	1月、AJS特集「変化する社会における変化する女性」	第5章	
1973年	ジェームズ・コールマン復帰	第2章	
1974年	フローレンス・レヴィンソンを解雇。	第5章	
1975年	ジェームズ・キャリー『社会学と公共問題』	第1章	
1977年	マシューズ『アメリカ社会学の探究』	第1章	
1977年	AJS、原稿取扱手数料を導入。編集者はビッドウェル。	第6章	
1979年	ポール・ロック『シンボリック相互作用論の形成』	第1章	
1980年	ルイスとスミス『アメリカ社会学とプラグマティズム』	第1章	
1980年	ハナーツ『都市を探求する』	第1章	
1983年	『都市生活』誌特集「シカゴ学派：伝統と遺産」	第1章	
1984年	バルマー『シカゴ学派社会学』	第1章	
1984年	クルツ『シカゴ社会学を評価する』	第1章	
1987年	リー・ハーヴェイ『シカゴ社会学の神話』	第1章	
1987年	ストー・パーソンズ『シカゴのエスニック研究』	第1章	
1988年	ディーガン『ジェーン・アダムズとシカゴ学派の男たち』	第1章	
1988年	スミス『シカゴ社会学：資本主義のリベラルな批判』	第1章	
1988年	『社会学的視点』誌特集	第1章	
1990年	リンドナー『都市文化のルポルタージュ』(独語)	第1章	
1992年	ティエンダ、AJSの編集者に	第6章	
1992年	ティエンダからアボットに原稿依頼	序文	
1995年	AJS百周年	序文	
1995年	ファイン編『第二次シカゴ学派?』	第1章	
1996年	リンドナー『都市文化のルポルタージュ』(英語)	第1章	
1997年	AJS編集者がラウマンに。	序文	
1999年	本書出版	序文	

©2011 by Yasushi Matsumoto, Rikkyo University